

# 社員が健康で笑顔あふれる人生を歩むことが 幸せを感じられる家づくりに直結

REPORT 4

地域の皆様に必要とされる  
住空間創造会社

## 株式会社 大雄

<https://www.daiyuu.com/>

「YOU HOUSE」のブランド名で、家事が楽になる動線配置と子育てのしやすさを重視した「ママと子どもにやさしい家」や「自分らしい暮らし方のできる家」を設計から建設までトータルサポートしている。



〒509-0132 各務原市鷺沼西町4-69  
TEL.058-384-1171

創 業 ● 1962年4月  
代 表 者 ● 代表取締役 阿部 嘉澄  
従業員数 ● 91名 (男性48名・女性43名)



# あなたを守る新習慣 受けよう! がん検診



一生のうち、**2人に1人ががんにかかる**と言われる時代になりました。  
がんは何よりも**早期発見が大切!**「がん検診」を是非、受けましょう。

### 市町村で受けられる「がん検診」

部位	検査項目	対象者	頻度
胃がん	問診及び胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査 (H28年度から、一部市町村で開始) のいずれか	50歳以上 <small>※当分の間、胃部エックス線検査は年1回・40歳以上可</small>	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
肺がん	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 (医師が必要と認める者)	40歳以上	年1回
乳がん	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回

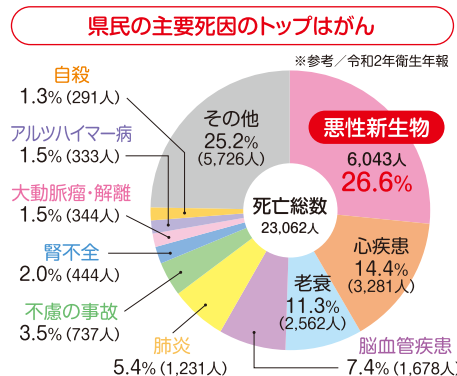
**Q** 何も症状が無いけれどがん検診は受けた方がいいの?

**A** がんの初期段階には自覚症状が無いことが多く、早期発見のためには、**がん検診を定期的に受けることが大切**です。  
※気になる症状がある場合はすぐに医療機関を受診してください。

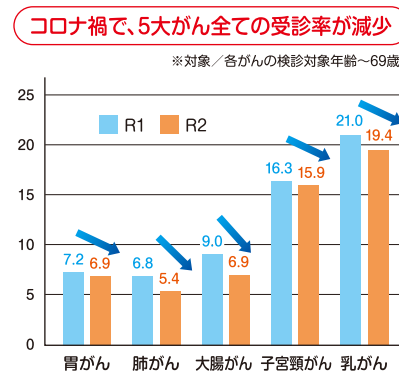
**Q** どんな検診が受けられるの?

**A** 市町村で受けられる検診は右記のとおりです。対象者は**自己負担も市町村の補助により500円~2,000円程度**で受けることができます。

### 令和2年 岐阜県の主要死因別死亡数の割合



### 岐阜県市町村がん検診受診率 (地域保健・健康増進事業報告)



がん検診を受けるには

お勤めの方や  
そのご家族

職場の健康診断や人間ドックでがん検診を実施している場合があります。**お勤め先や加入している健康保険組合にご確認ください。**

それ以外の方

市町村が実施するがん検診を受けることができます。**お住いの市町村にお問い合わせください。**



住宅メーカーの大雄は、「幸せを感じられる家づくりのお手伝いをするには、社員も健康で幸せな人生を楽しむ必要がある」との認識のもと、働きやすい職場づくりに取り組み、2017年度には県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業に選ばれました。

次に取り組んだのが健康経営。経営陣が、保険代理店から健康経営について詳しく聞く機会に恵まれたことで「社員の健康が会社の未来にとって重要」と改めて認識し、健康経営の取り組みがスタートしました。



### 発足早々、全社員に向けて ブライト500を 目指すと宣言

健康経営に取り組みを決めた間もない2019年秋、経産省の「健康経営優良法人2020」にエントリーしたところ、健康診断の高い受診率やワーク・ライフ・バランスの推進などの実績があったことから、認定を受けることができました。しかし大雄は「ここから本場のスタート」と位置付け、社内の様々なテーマに社員自身が取り組む委員会を、新たに健康経営委員会を設立。さまざまな部署の女性社員3人を委員に任命しました。



3人は今後の取組みについて考える中で、健康経営優良法人(中小規模法人部門)の認定企業の中でも、「特に優れた取り組みを行っている企業かつ、地域において、健康経営の発信を行っている企業」として全国の500法人にのみ贈られる「ブライト500」を目指す。

が担当の社員には本社に車を停めて歩いて向かうことを推奨。大山橋までは2km、市民プールまでは1.5kmほどある上、清掃活動中も歩き回ることから、一気に歩数を稼いで上位争いに食い込むチームもあります。

### 毎回異なるチーム編成で 部署間交流の機会創出

歩数チャレンジで委員会が気を使っているのがチーム編成。同じ部署のメンバーで固定してしまうと、歩く機会の多い営業や不動産管理の部署と、座っていることが大半の設計や経理などの部署との差が出やすく、やる気を失いつきかけにもなりかねないことから、住んでいる地域や干支など、部署に関係ない基準でチーム分けを行い、毎回違ったメンバーでチームを組むよう工夫を凝らしています。アプリ上ではチームのメンバー同士、写真やメッセージを送り合うこともでき、関わりが少なかった部署の社員同士が交流する機会が生まれるなど、コミュニケーションの円滑化と



いう面から見ても大きな成果が出ています。

### 健康関連のセミナーは テーマごとに 個別に参加呼び掛け

他に力を入れているのが健康経営委員会セミナー。21年は禁煙、22年には食事、運動、女性の健康をテーマにしたセミナーを開きました。全ての回への参加を求めるのではなく、喫煙や健康診断の状況等から受けることが望ましい社員に個別に案内することで、受講の必要性を感じてもらいやすくしています。きめ細やかな声掛けの結果、女性セミナーには女性社員の7割ほどが出席。子宮頸がんや乳がん検診を受けることの大切さを広く訴えることができました。

22年度からは毎月22日を禁煙デーとし、灰皿を使えないようにすることで禁煙を呼び掛ける取組みも進めています。メンタルヘルスに関しては、管理部や業務提携しているOJDでメンタルヘルスの有資格者と手を組み、社内外の関係者が一体となったサポート体制を整えました。

### PICK UP

#### 社員に好評の「残業パン」

住宅を建てた方と完成後もつながっているように、そして地域の方々との新たなつながりづくりのため、2018年から、ショールームの敷地内でatoriパン工房を営んでいます。国産小麦、国産バター、無添加生地にこだわった身体に優しい安全安心なパンが自慢です。

「残業しなければならぬのであれば、身体に優しくおいしいパンを食べて乗り切してほしい」という思いから、全社員に向けて毎週月曜日に「残業パン」という名称のatoriで使える金券500円を配信しています。実際は「残業パン」は名前だけで、次の日の朝ごはん用に使う方が多いのですが、社員の食事を気遣う思いを、気軽な形でダイレクトに伝えられ、社員側にも喜んでもらえる取組みとなっています。



「休日に散歩する習慣ができた」「健診結果が良くなっていった」などのコメントが寄せられました。

### ウエルビーイングの向上への 心のケア強化

健康経営の今後について、委員会は「特に運動については成果が出てきましたが、心身とも健康で幸せなことを指す『ウエルビーイング』という点から考えると心のケアがまだまだ。」「ブライト500の認定を目指す



中で、社員同士のコミュニケーションの促進などもっとできることがあるので、併せて取り組み、社員が健康で永く働ける職場づくりを進めていきたいと考えています。

### チームで歩数を競うことで ウォーキングを習慣化

気軽にできる健康づくりとして委員会が重視しているのがウォーキング。個々にウォーキングの大切さを説いても広がりに限りがあるであろうことから、5人1組がチームとして同じ目標を目指すことができるアプリ「みんチャレ」を活用した「歩数チャレンジ」を年6回実施しています。期間は4週間、その間の歩数がかもつても多かったチームが優勝です。優勝を争うチームにとって4週目は「ビリビリモード」。白熱するあまりに1日に4万歩も歩いた強者もいるほど。4万歩は極端な例ですが、歩数チャレンジ期間中は、ウォーキングイベントに積極的に参加したり、普段はエレベーターを使うところを階段を使ったりと、多くの社員が歩くことを意識して毎日1万歩前後は歩くように



川にかかる犬山橋(通称ツイエンプリッジ)と、各務原市民プール周辺

